IDEXX Catalyst Dx[™] Chemistry Analyzer



IDEXXカタリストDx 簡易操作ガイド

目次

• はじめに 3 本体について 第1章:検査の準備と実施 1-1:ミニキーボード使用方法および画面入力方法 5 1-2:試薬スライドの保存および準備について 6 1-3:サンプル準備 7 1-4:患者情報入力と測定 8 1-5:サンプル取り出し 11 1-6:検査のキャンセル 11 12 1-7:希釈測定 第2章:メンテナンス 2-1:本体の再起動 13 13 2-2:スライド排出トレーの清掃 2-3:ファンフィルターの清掃 13 2-4:機器内部の清掃 14 2-5:精度管理(QCテスト)の定期実施 18 2-6:キャリブレーション(較正)について 20 2-7:ソフトウェアアップグレード方法 21 第3章:トラブルシュート 3-1:本体のフリーズ 22 3-2:本体の初期化 22 3-3: ベットラボ ステーションとの通信トラブル 22 3-4:メッセージー覧表 23 3-5:スライド排出エラー対処方法 23 3-6:メッセージコードー覧表 24 第4章:補足資料 4-1:必要サンプル量一覧表、クリップの詳細 25 4-2:試薬スライド、クリップ、その他の専用備品の保存方法一覧表 27 4-3:電解質検査用試薬 Lyte 4クリップ ご利用上の注意 28 4-4:UPC(尿中タンパク/クレアチニン比) 試薬 ご利用方法 29 4-5: 総サイロキシン(トータルT4) 試薬 ご利用方法 30 4-6:C反応性蛋白(CRP) 試薬 ご利用方法 31 4-7:対称性ジメチルアルギニン(SDMA)試薬セットご利用方法 32 カタリスト 参考基準値一覧表 33 カタリスト 測定可能範囲一覧表 34 「お客様専用サイト」のご案内 35 ご利用上の注意 36

はじめに

この簡易操作ガイドは、<u>IDEXX カタリストDx</u>を正しくご使用いただくための必要事項、および、基本操作のみ抜粋して作成しております。

□ 本体の起動について

本体背面の電源スイッチをONにしてください。 ウォームアップに約15分~25分かかります。

ロ シャットダウンについて

初期画面右上の「ツール」を押し、「シャットダウン」を選択してください。 「はい」を選択すると、「シャットダウン」と表示されます。 本体背面の電源スイッチをOFFにしてください。

ロ バージョンのアップグレード

カタリストDxは、スマートサービスにてアップグレードされます。 アップグレード操作が必要な際はメッセージが出ますので、画面の指示に従って ください。

詳細は、*「第2章 2-7 ソフトウェアアップグレード方法」*をご確認ください。

ロ ベットラボステーションとの通信について

カタリストDxはベットラボステーションと通信を取っています。 ベットラボステーションのアイコンが緑色になっていれば通信が取れている状態です。 黒色の場合はオフライン状態ですので、検査前にご確認ください。



ベットラボステーション画面

ご不明な点がございましたら、アイデックステクニカルサポートまでご連絡ください。

電話:0120-71-4921(自動音声案内1番)

平日:9:00~20:00

土曜・日曜:9:00~18:00 FAX:0120-71-3922

□ 本体の構成



電源およびLANケーブル挿入口は本体の背面にあります。

第1章:患者情報の入力とキャンセル

□1-1:ミニキーボード使用方法および画面入力方法

キーボード入力方法



- ① 半角/全角キーとALTキー
 - : <u>Altキーを押しながら</u>半角/全角キーを押すことで、日本語(ひらがな)と 英語(半角英数字)の切替
- ② スペースキー:日本語入力時の文字変換
- ③ Tabキー:カーソルの移動
- ④ Enterキー:日本語入力時、入力文字の確定
- ⑤ Capsキー:アルファベットを大文字で入力

患者情報入力画面

【*】マークがついている項目は必須入力です。【*】マークの項目を全て入力しないと【次へ】が押せません。



- ① 患者名:全角カタカナで入力必要
- ② オーナー名字:半角英数字、全角カタカナで入力必要
- ③ オーナー名前:半角英数字、全角カタカナで入力必要
- ④ オーナーID(カルテ番号など):半角英数字で入力必要
- ⑤ 動物種:プルダウンから選択
- ⑥ 年齢、もしくは牛年月日:半角英数字で入力必要
- ⑦ ライフステージ: プルダウンから選択
- 8 性別:プルダウンから選択
- 注意 カタカナ入力後、必ずEnterキーを押して、入力を確定してください。 項目を移動したい場合は、確定後にTabキーにて移動してください。

□1-2: 試薬スライドの保存および準備について

● 試薬スライド保存方法



冷蔵、または冷凍保存です。

試薬スライドごとに異なります。箱に記載された保存方法に従ってください。 ※本操作ガイド 「第4章 4-2 試薬スライド、クリップ、その他 備品の 保存方法 一覧表 / も併せてご参考ください。

● 試薬スライド準備



ご使用前に室温に戻す必要はありません。

冷蔵、または、冷凍の状態からそのまま使用できます。

必ず、開封後から5分以内にご使用ください。

電解質検査用 Lyte 4 クリップのみ開封後から 2 分以内にご使用ください。 クリップの場合、セットから外さず、そのままご使用ください。

※Lyte 4 クリップは他の試薬スライドやクリップと取扱い方法が若干異なります。 本操作ガイドの「第4章 4-3 電解質検査用試薬Lyte 4 クリップご利用上 の注意 / も併せてご参考ください。

● 専用消耗品

ピペットチップ



サンプルカップ

sample cups

全血セパレーター

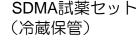


● 特殊スライド専用消耗品

UPC専用希釈 (室温保存) トータルT4試薬 (冷蔵保存)



CRP試薬 (冷蔵保存)







● ピペットチップ準備





カタリスト専用ピペットチップを サンプルトレーにセットしてください。

□1-3:サンプル準備(全血、血清、血漿、尿の検体)



- 図 採血はプレーンのシリンジで行ってください。
- 全血セパレーターを使用しない場合は、必ずカタリスト専用のサンプルカップに血漿、 血清を移して検査を行ってください。気泡の混入にお気をつけください。
 - ※ 14項目以上の検査を行う場合は、付属のマニュアルピペット(300 µI)を使用することをお勧めします。
- 全血セパレーターを使用の場合に、サンプルの状態により血漿量が変動しますので、 全血セパレーターに分注する量にご注意ください。(必要量600~800 µI)「第4章 4-1 必要サンプル量の一覧表、クリップの詳細」もご確認ください。

尿 (UPC検査)



 採尿したのち、 プレーンチューブ に移し替えてくだ さい。



2. 遠心分離器で成分を 分離してください。 (遠心速度と時間は 下記ご参照)



 分離したのち、 上清300µlを サンプルカップに 移してください。

- ◎ 遠心分離器の速度と時間は、5分/2,000 rpmで設定ください。 スタットスピンをご使用の際は、尿モードを設定ください。(45秒/9,800 rpm)
- ◎ 分離した尿の液体成分をサンプルカップに移す時は、付属のマニュアルピペット (300 µl)を使用することをお勧めします。

□1-4:患者情報入力と測定(各項目入力後はEnterキーを押してから次に進んでください)

- 1. ベットラボステーションから患者情報を入力します。
 - ①【検査】を押します。





②【患者登録】を押します。



④ 検査するアイコンを選択し、

③ 必須事項(*)を入力し【次へ】を押します。







- 2. カタリストDx本体で操作をしてください。
- A) Chem 1 7/1 5/1 O、Lyte 4 クリップ、NH3 (アンモニア) やその他の単項目を測定する場合
 - ・UPC試薬を測定する場合は、以下のB)をご参考ください。
 - トータルT4試薬、CRP試薬、SDMA試薬を測定する場合は、以下のC)をご参考ください。
 - ① 検査待ちリストの患者名を選び、【選択】を押します。
- ② サンプルタイプと希釈を選択し 【次へ】を押します。
- ③メンテナンスアクセスドアが 開き、サンプルトレーが出て きます。







④ サンプルトレーにスライドや クリップ、全血セパレーター、 またはサンプルカップを セットします。



⑤【測定】を押すと測定を開始します。



⑥測定終了後、検査結果が ベットラボステーションに 転送されます。



• NH3、またはLyte 4 クリップを他のクリップや試薬スライドと同時に測定する場合は、NH3スライド、またはLyte 4 クリップを最初(一番下)にセットしてください。
NH3スライド と Lyte 4 クリップを同時に測定する場合は、NH3スライドを最初(一番下)にセットしてください。

B) UPC試薬 を測定する場合

- ※ 専用の消耗品(希釈液)を必要とし、セット箇所も通常の測定と若干異なりますので、 必ず事前に、本操作ガイド「第4章 4-4: UPC(尿中タンパク/クレアチニン比)試薬 ご利用方法/をご確認ください。
 - ① 検査待ちリストの患者名を選択し、 【選択】を押します。



② サンプルタイプは「尿」、特殊スライドは「UPC」を選択し、【次へ】を押します。



③ 画面の指示に従い、チップ/希釈液トレーに必要な検体と備品をセットして【次へ】を押します。



④メンテナンスアクセスドアが開き、 サンプルトレーが出てきます。



⑤「サンプルとスライド挿入」画面に従い、 サンプルトレーに、**尿を300µl入れた** サンプルカップとUPROスライド と UCRE スライド をセットします。







⑥【測定】を押し、測定を開始します。

⑦測定終了後、検査結果がベットラボステーションに転送されます。



C) トータルT4試薬、CRP試薬、SDMA試薬セットを測定する場合

専用の消耗品(試薬)を必要とし、セット箇所も通常の測定と若干異なります。 必ず事前に、本操作ガイド

- 「第4章 4-5:総サイロキシン(トータルT4) 試薬ご利用方法」
- 「第4章 4-6:C反応性タンパク(CRP) 試薬ご利用方法」
- 「第4章 4-9: 対称性ジメチルアルギニン(SDMA) *試薬 ご利用方法*/ をご確認ください。
- 選び、【選択】を押します。 【次へ】を押します。
- ① 検査待ちリストの患者名を ② サンプルタイプと希釈を選択し ③メンテナンスアクセスドアが
 - 開き、サンプルトレーが出て きます。



④ サンプルトレーにスライド、全血セパレーター または サンプルカップをセットします。 更に、チップ/希釈液トレーを開け、試薬カップ、ピペットチップをセットします。



試薬スライド

試薬カップ

⑤【測定】を押し、測定を開始します



⑥測定終了後、検査結果がベットラボステーションに転送されます。



ロ1-5:サンプルの取り出し

サンプル吸引後、測定中に聞き内部からサンプルを取り出すことができます。

1. 測定中の患者名の下に【サンプル取り出し可能】と表示されたら、【サンプル取り出し可能】を押すと、測定中でもサンプルを取り出すことが可能です。(A) また、測定終了後にサンプルを取り出す場合は、【ツール】を押して【サンプルの取り出し】を押すと、サンプルを取り出すことができます。(B)





2. メンテナンスアクセスドアよりサンプルを取り出せます。

□1-6:検査のキャンセル(カタリストDx本体より操作します)

1. 【ツール】を選択します。

△ 1/1 ▽

【検査待ちのデータの編集】
 を選択します。



 (4) 検査待ちリストの患者名を 選択し、【削除】を押します。



□1-7:希釈測定

Lyte 4 クリップ/NH₃/UPC/トータルT₄/FRU/SDMA は希釈測定ができません

- ・希釈には**生理食塩水**をご利用ください
- 希釈測定を選んで測定した検査結果は、選択した倍率で計算をした結果が表示されます。
- ・希釈倍率は、予め設定された倍率のみご利用いただけます。

自動希釈: 2倍、4倍、6倍、10倍

手動希釈: 2~11倍、21倍

※ C反応性蛋白(CRP)は**自動希釈測定不可**、手動希釈測定は可能です。

• 白動希釈

① サンプル情報登録画面の 希釈オプションで【自動】を 選択し、倍率を設定します。 ② チップ/希釈液トレーに空の サンプルカップ(左)と300µl 希釈液入りサンプルカップ(右) をセットして【次へ】を選択

③ スライドとサンプルを 挿入し【**測定**】を押して 検査を開始します。







自動希釈倍率表

≥≤ ₩□/\$\$\\$\$\	サンフ	プル量	希釈液	検査可能 項目数					
希釈倍率	血清•血漿	全血	ተን ለሃረ // ፲፯						
2倍希釈	155 μ	700 µl	300 µl	5					
4倍希釈	130 μl	700 µl	300 µl	10					
6倍希釈	130 μl	700 µl	300 µl	10					
10倍希釈	100 μl	700 µl	300 µl	10					

※サンプル量は、必要最低量です。

• 手動希釈

① サンプル情報登録画面の希釈オプションで【手動】を選択し、倍率を設定します。



② スライドと希釈済みのサンプルを挿入し【測定】を押して検査を開始します。



※ 手動希釈モードで測定時の検体量は、本操作ガイド 「第4章 4-1 必要検体量の一覧表、クリップの詳細」をご確認ください。

第2章:メンテナンス

□2-1:本体の再起動

- ※ 週に一度、再起動を行ってください。
- ①【ツール】を選択します。 ②【シャットダウン】を選択し、 ③ 本体背面のスイッチを
 - 表示の【はい】を選択します。
- 切ります。



ロ2-2:スライド排出トレーの清掃

- ※ 機器起動時もしくはメッセージが表示された場合に行ってください。
 - ① スライド排出トレーを取り 出し、スライドを廃棄します。
- ② トレーを元に戻します
- ③【はい】を押します。



□ 2-3:ファンフィルターの清掃

- ※ 3ヶ月に1度行ってください。
 - ① 本体背面のファンフィルターを外し、 ホコリを除去します。



② 元通りにフィルターをセットしてください。



掃除機などでホコリを吸い取ってください。

□2-4:機器内部の清掃:

■内部清掃の手順

少なくとも 月に一度の 機器内部の清掃 を定期的に実施が必要です。 お知らせで「クリーニング必要」などメッセージが出た場合も内部清掃が必要です。 ※ 清掃でエラーが解消しない場合はテクニカルサポートまでご相談ください。

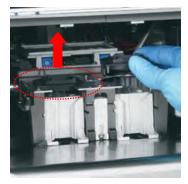
1. 【ツール】を選択後、【クリーニング】を押します。



- 2. メンテナンスドアを開けます。
- ① ドアパネルを上に押します。
- ② ドアパネルが開いた隙間に手を入れて ③ メンテナンスアクセスドアの ハンドルをしっかり下へ押し下げて メンテナンスアクセスドアのロックを 解除します。
- 中心部をしっかり上に持ち上げ ます



3. サンプルトレーの上にある黒いカバー(キャリア)を持ち上げ、サンプルが無いことを確認 します。



- ※左右各1つずつ確認します。
- ※黒いカバーの内側が汚れている場合、水洗いしてください。



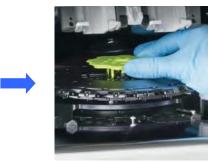
黒いカバー (キャリア)

4. サンプルトレー中心部のラッチを奥に押し ロックを外し、サンプルトレーを上に持ち 上げます。





5. ローターのハンドル (カルーセル) を持ち、機器内部からローターを 取り出します。



- 6. アルコールプレップパッドで汚れを拭き取り、オプティカルティッシュで同じ箇所を 乾拭きします。
 - ※ アルコールプレップパッドをお持ちで無い場合は、70%イソプロピルアルコールにて代用 ください。70%エタノールは使用しないでください。
 - ① ローターをセットしている機器内部の汚れ を拭き取ります。
 - 機器内部の<u>サーキット</u>を**反時計周り**で拭き取ります
 - 機器内部の 光学系レンズ と イオンウィンドウ を 拭き取ります。

②ローター部分の汚れを拭き取ります。

- 白いパネル(リファレンスタイル)の 汚れを拭き取ります。
- 黒いエバポレーション キャップの汚れを拭き 取ります。





※詳細は、以下の「クリーニングの4つのポイント」を参照してください。

- 7. ハンドルを上にしてローター 8. サンプルトレーを下げ、 を機器内部へ戻します。
 - ラッチを奥に押しロック をかけます。
- 9. 遠心器ホルダーを取り外し 清掃後、元に戻します。











- 10.メンテナンスアクセスドアを閉めます。
 - ① ドアパネルのハンドルに手をいれ、 カチッと音がするまで下に押し下げます。
- ②ドアパネルを上に押し、閉じます。







11. カタリストDxの画面の【完了】を押し、機器本体を初期化し完了です。

■クリーニングの4つのポイント

ローター

1. <u>白いパネル</u>

: アルコールプレップパッドで拭き取り、オプティカルティッシュで乾拭きします。



2. 黒いエバポレーション キャップ

: エバポレーションキャップを **開けた状態** と **閉めた状態** で、アルコールプレップパッド で 拭き取り、オプティカルティッシュ で乾拭きします。

① エバポレーションキャップ18ヵ所すべて開けた状態にします。







② 赤い部分を拭きます。



③次に、キャップをすべて閉めた状態にします。





④ 赤い部分を拭きます。



⑤ 汚れが取れるまで①~④を繰り返します。 最後はキャップを閉めた状態にします。



ローターをセットしている機器内部

3. <u>サーキット</u>

: 反時計回りに拭き取ります。

<u>こびりついた かたまりや粉を</u>拭いても取れない場合は、爪や木の爪楊枝や 割り箸の先などで剥がしてください。剥がした後は、アルコールプレップパットで拭き取り、オプティカルティッシュで乾拭きをしてください。※ 鉗子などの**金属は使用しない**でください。





※ こびりついた筋状のかたまりや粉は汚れです。

4. 光学レンズとイオンウィンドウ

: サーキットの清掃後、拭き取ります。

<u>こびりついた かたまりや粉を</u>拭いても取れない場合は、爪や木の爪楊枝や 割り箸の先などで剥がしてください。剥がした後は、アルコールプレップパットで拭き取り、 オプティカルティッシュで乾拭きをしてください。※ 鉗子などの**金属は使用しない**でください。



- ※ 傷のように見えますが、内部で乾いて筋状になった 汚れのため除去してください。
- ※ レンズの縁の白い粉も除去してください。

□ 2-5:精度管理(QCテスト)の定期実施

月に1度の機器内部の清掃後などの定期的な実施を推奨しています。また、機器や試薬の 品質管理を行う際にも実施してください。

実施の手順として、ベットロールコントロール液の準備後、機器操作が必要です。

■ 測定に必要な備品

ベットロールコントロール液 QCクリップ、Lite 4 クリップ

※または、精度管理でチェックしたい項目

■ ベットロールコントロール液の準備

注意:ベットロールコントロールは冷凍保存してください。 冷蔵の環境で24時間以上の保管は避けてください。

- 1. 凍結乾燥状態のコントロール血清バイアル(紫キャップ)と希釈液バイアル(白キャップ) を各1バイアル取り出します。室温になるまで、常温で60~90 分間放置します。
- 希釈液バイアルを静かに転倒混和し、内容が均一になるようにします。
 決して泡立てないでください。
- 3. コントロール血清バイアルを数回たたき、栓の内側についた粉末を落とします。
- 4. コントロール血清バイアルおよび希釈液バイアルの銀色のシールと栓を外します。 ※ バイアルの栓を開けたまま放置しないでください。
- 5. ピペットを使用して希釈液を 3 ml 正確に取り、コントロール血清バイアルに静かに移します。残った希釈液は破棄してください。
 - ※ 3 m l の計測にあたり、お手持ちのマイクロピペッターをご使用ください。 または、機器に付属しています300 μlピペッターを10 回ご使用しても良いです。
 - ※ 厳密な検量が必要とされるため、シリンジの使用は極力控えてください。
- 6. コントロール血清バイアルに栓をしっかりと閉めて、ゆっくりと転倒混和します。 時々転倒混和しながら**45~60分**室温に放置します。使用前に、凍結乾燥粉末が全て溶解 していることを確認してください。 ※ 決して泡立てないでください。
- 7. カタリストOneで測定を行います。すぐに測定しない場合、コントロール液はしっかりと栓をした状態で冷蔵保存します。使用する前は 必ず室温に戻し、数回転倒混和してから使用してください。
- 8. 24時間経過したコントロール液は廃棄してください。

■ ベットロールコントロール液の安定性と取り扱い

- 調整後は冷蔵保管(2~8℃)で最大24時間まで使用可能です。
- CKおよびNH3に関しては、溶解後2時間以内に使用してください。光に当たると TBil値 およびCK値に影響を及ぼします。NH3値は、時間の経過と共に上昇します。

- ベットロール(コントロール血清)液の測定方法】
 - ベットロール(コントロール血清)液の準備ができましたら下記手順で測定をします。
 - 注意)測定前は必ず機器内部清掃の実施が必要です。
 - ※ 方法は、「第2章 2-4:機器内部の清掃」をご参照ください。
- ① ベットラボ ステーション画面 中央の【機器操作】を押します。
- ② 左側の列でCatalyst Dxを選択し、 右側にある【**品質管理 (QC)**】を押します。





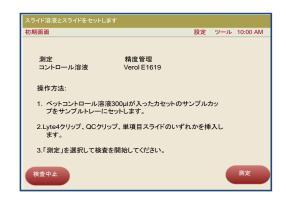
③ 使用するベットロールのロットを選択します。選択したのち、【QC測定】を押します。 ※ ベットロールのロットは茶色遮光瓶のシールに記載されています。





- ④ カタリストDx本体の画面の、検査待ち リストに表示されたベットロールのロット を選択し、【挿入】ボタンを押します。
- ⑤ 表示された画面の操作手順に従い測定します。





⑥ 測定終了後、結果が全て基準値に入っていることをご確認ください。 基準値から外れている場合、アイデックス テクニカルサポートまでご連絡ください。

□ 2-6: ソフトウェアアップグレード

カタリストDxは、**年に数回ソフトウェアアップグレードが必要**です。 アップグレードには、機器の機能改善やスライドの新しいロット情報の更新が含まれます。 早めにアップグレードを行ってください。

【注意】アップグレード中は機器の利用ができません。

15~30分かかることがありますので、診察時間外の実施をおすすめします。

- ※ アップグレードを行う前 もしくは普段よりデータのバックアップを行ってください。
- ※ アップグレード用USBはアップグレード完了後、破棄してください。
- ※ アップグレードが完了するまで、カタリストDxとベットラボステーションの 電源は切らないでください。

A) ソフトウェアバージョン確認方法

- ① カタリストDxの画面右上の【ツール】を選択します。
- ② 画面の下の方の、ソフトウェアバージョン を確認します。※ 最新のソフトウェアバージョンの確認は、テクニカルサポートへ連絡をお願いします。

B) アップグレード方法

(スマートサービス経由で配信)

カタリストDx本体の画面の中央の【アップグレード可能】を選択します。 アップグレードが自動でスタートします。

(アップグレード用USBで更新)

- ①【機器操作】→【ソフトウェアアップグレード】の順に選択します。
- ② アップグレードUSBをベットラボステーション本体のUSB差し込みへ挿入し、 少しお待ちいただいてから、【USB】を選択します。
 - ※ ① ②を実施するだけで自動でアップグレードが進む場合もございます。
- ③カタリストDx本体の画面の中央の【アップグレード可能】を選択します。 アップグレードが自動でスタートします。

ロ 2-7:キャリブレーション(較正)について

カタリストDxは、機器内部の汚れを検知すると、クリーニングやキャリブレーション(較正)を促すメッセージを出します。クリーニング実施後も、同様のメッセージが続く場合、キャリブレーション用スライドを使用して較正が必要な場合があります。

注意)キャリブレーションを実施する際は、事前にテクニカルサポートへご連絡ください。

【キャリブレーション方法】

注意)キャリブレーションを実施する前は必ず機器内部清掃の実施が必要です。 ※ 方法は、「第2章 2-4:機器内部の清掃」をご確認ください。

- ① 【ツール】を選択後、【較正】を押します。
- ② 出てきた画面で右上の【OK】を選択します。
- ③ サンプルトレーが前に出てきたら、キャリブレーション用スライドをセットします。
- ④ 右上の【OK】を選択します。自動でキャリブレーションがスタートします。
- ※ キャリブレーション用スライド使用後のお願い 使用済みのキャリブレーション用スライドは廃棄し、テクニカルサポートまで注文の連絡を お願いします。

第3章:トラブルシュート

問題が発生した場合は、ベットラボ ステーション画面にメッセージが出ます。 そのメッセージに従い、対処してください。

問題が解決しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

電話:0120-71-4921(自動音声案内1番)

□3-1:本体のフリーズ

カタリストDx本体がフリーズした場合、本体背面の電源スイッチを切り 再度スイッチを付けて起動してください。



□3-2:本体の初期化

1. 【ツール】を選択後、【初期化】を押します。 2. 約5分間の初期化動作後、初期画面に戻ります。



口3-3:ベットラボ ステーションとの通信トラブル

※ ベットラボステーション画面上のカタリストDxのアイコンがグレーの場合は、 オフライン状態となります。

【対処方法】

- ① カタリストDx本体の再起動を行ってください。
- ② 解決しない場合は、ベットラボステーションの再起動を行ってください。

口3-4:メッセージー覧表

カタリストDxの画面右上にメッセージが表示されます。一覧表をご確認ください。

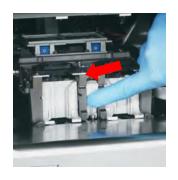
	こ クル教がに作めず。 発致とこ虚脳へたこと。
メッセージ画面表示	メッセージ詳細
チップ/希釈トレーを閉じて	ピペッタチップトレーが開いています。トレーをしっかり閉じてく
ください。	ださい。
ピペットチップを補充して	ピペッタチップトレーにチップが残り3つになりました。
ください。	ピペットチップを補充してください。
サンプルトレーは、使用中です。	両方のサンプルトレーが使用中です。測定が終了してからサンプル をセットしてください。
スライド排出トレーを閉じて	スライド排出トレーが開いています。トレーをしっかり閉じてくだ
ください。	さい。
排出トレーを空にしてください。	スライド排出トレーがいっぱいです。トレーを空にしてください。
機器本体を初期化してください。	初期化が必要な状態です。「ツ―ル」を押し、「初期化」を選択してください。
初期化中…	機器を初期化しています。しばらくお待ちください。
クリーニングが必要です	本体内部清掃が必要です。
準備中機器のメンテナンス	機器が内蔵LEDをチェックしています。(定期的に表示されます)
メッセージ	エラーが発生しました。手順に沿って、本体を初期化してください。
	初期画面右上の「ツール」を押し、「初期化」を選択してください。
	エラーが解消されない場合、アイデックス テクニカルサポートに連 絡ください。
	Mil く/ここ v io

口3-5:スライド排出エラー対処方法

- 1. メンテナンスドアを開けます。
- ①ドアパネルを上に押します。
- ② ドアパネルが開いた隙間に手を入れて ハンドルを<u>しっかり下へ押し下げて</u> メンテナンスアクセスドアのロック
- ③ メンテナンスアクセスドアの 中心部をしっかり上持ち上げ ます。



2. サンプルトレー中心部のラッチを奥に押しロックを外し、 3. ローターのハンドルを持ち機器内部 サンプルトレーを上に持ち上げます。 からローター(カルーセル)を取り 出します。







4. 詰まっているスライドを取り出し、 ローターを元に戻します。





5. サンプルトレーを下げ、ラッチ を奥に押しロックをかけます。



- 6. メンテナンスドアを閉めます。
 - ① ドアパネルのハンドルに手をいれ、 カチッと音がするまで下に押し下げ ます。
- ②ドアパネルを上に押し閉じます。







7. カタリストDxの画面の【ツール】を選択後、【初期化】を押して、機器本体を初期化します。

口3-6:メッセージコードー覧表

- ※ 問題が生じた際、番号とメッセージが表示されます。一覧表をご確認ください。 コードは下記以外も出現します。画面の指示に従って、対処をしてください。
- ※ 問題が解決しない場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

コード	コード詳細	対処法
6008	サンプル量が不足しているか、サンプルに気泡が混入しています。	ツール画面の「サンプルの取出し」を選択し、サンプルトレーからサンプルを取り出します。ベットラボステーションから再測定してください。
6023 6024	キャリブレーションエラー	スライドに傷がないか、使用期限内か確認してください。 新しいスライドで再測定してください。
6037 ~ 6042	機器の内部清掃が必要です。	機器内部を清掃してください。 解消しない場合は、較正をしてください。
10502	全血を分離できません。	全血サンプルを取り出し、本体を初期化してください。 初期化後、新しいサンプルで再測定してください。
10711 6026	機器のキャリブレーションが必要です。	機器内部清掃後、較正を行ってください。
10804 10805 10807	サンプルトレーが開きません。	ツール画面から「初期化」を選択し、本体を初期化してください。
10812 10813	スライドが詰まっています。	1. メンテナンスアクセスドアを開け、詰まっている スライドを取出してください。 2. 本体を初期化してください。 3. 再度新しいスライドを使って検査をしてください。
10908	ピペッタチップがサンプル プローブに装着できません。	ツール画面から「初期化」を選択し、本体を初期化してく ださい。ピペッタチップトレーにピペッタチップを追加し てください。

第4章:補足資料

□ 4-1:必要検体量一覧表、SDMAセット、試薬クリップの詳細

必要検体量

■ 全血:必要量600~800µl

カタリスト専用の全血セパレーターを使用時の検体量です。 全血セパレーターを使用の場合、検体の状態により血漿量が変動するため、 分注する量にご注意ください。

■ 血清・血漿量

スライド数	検体量 (µL)	Lyte4 (µL)	QC CLIP (µL)	Chem 10 (µL)	Chem 15 (µL)	Chem 17 (µL)
1	60					
2	70					
3	80	80				
4	90					
5	100					
6	110		110			
7	120			120		
8	130					
9	190					
10	200					
11	210					
12	220				220	
13	230					
14	240					240
15	250					
16	260			·		
17	270					
18	280					

※トータルT4試薬、CRP試薬、SDMA試薬の測定時の血漿/血清量

・単独で測定する場合

トータル T_4 試薬 または SDMA試薬: $65 \mu l$ CRP試薬 : $100 \mu l$

・他のスライドと一緒に測定する場合

<u>トータルT4</u> <u>CRP</u> <u>SDMA</u> <u>量→検体量は上の表を参照</u>

例) 試薬スライド1枚含む場合

トータルT4 + 他のスライド7枚=合計8枚 →130µl+15µl=145 µl

■尿量:300 µl (UPC検査用)

血液化学スクリーニング検査用セット(SDMAセット)内容と用途

セット名	セット内容	用途
Chem 18 犬用 スクリーニングセット	Chem 17クリッ プ SDMAスライド	スクリーニング検査 健康診断 術前検査
Chem 16 猫用 スクリーニングセット	Chem 15クリッ プ SDMAスライド	スクリーニング検査 健康診断 術前検査
Chem 11 子犬・子猫用 スクリーニングセット	Chem 10クリッ プ SDMAスライド	健康診断 術前検査
腎機能(GFR)評価セッ ト	BUNスライド CREAスライド SDMAスライド	腎臓病モニタリング 腎臓病以外の疾患での 腎機能評価

^{*}クリップに含まれる検査項目は以下「試薬クリップ詳細」をご参照ください

試薬クリップ詳細

※構成内容で実際セットされている順番ではありません。

	Chem17 クリップ	Chem15 クリップ	Chem10 クリップ	Lyte4 クリップ
	TP	TP	TP	Na
	ALB	ALB	ALB	K
	ALT	ALT	ALT	CL
	ALKP	ALKP	ALKP	
	GGT	GGT		
	TBIL	TBIL		
項目	CHOL	CHOL		
坝口	GLU	GLU	GLU	
	AMYL			
	LIPA			
	BUN	BUN	BUN	
	CREA	CREA	CREA	
	PHOS	PHOS		
	CA	CA		
	ALB/GLOB	ALB/GLOB	ALB/GLOB	Na/K
演算項目	GLOB	GLOB	GLOB	Osm Calc
	BUN/CREA	BUN/CREA	BUN/CREA	

Lyte 4 クリップとBUN、GLUを同時に測定するとOsmCalc (浸透圧) が演算されます。

□ 4-2:試薬スライド、クリップ、その他の専用備品の保存方法 一覧表

	要冷凍	要冷蔵
	Chem17クリップ	
	Chem15クリップ	
クリップ	Chem10クリップ	
	Lyte4クリップ	
	QC クリップ	
	AMYL (アミラーゼ)	ALB (アルブミン)
	AST(GOT) (アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)	ALKP(アルカリフォスファターゼ)
	CHOL (コレステロール)	ALT(GPT) (アラニンアミノトランスフェラーゼ)
	CK(クレアチンキナーゼ)	BUN(尿素窒素)
	CREA (クレアチニン)	Ca (カルシウム)
スライド	LIPA(リパーゼ)	GGT(ガンマグルタミルトランスフェラーゼ)
(単項目)	Mg(マグネシウム)	GLU (グルコース)
	NH ₃ (アンモニア)	LDH(乳酸脱水素酵素)
	TBIL(総ビリルビン)	PHOS(無機リン)
	UPC(尿中タンパク/クレアチニン比)	TP(総蛋白)
	FRU(フルクトサミン)	TRIG(トリグリセライド)
		URIC(尿酸)
スライドと 試薬カップ ※スライドと試薬が1つ・ のセットになっている		総サイロキシン(トータルT4)
		C反応性蛋白(CRP)
		対称性ジメチルアルギニン(SDMA)

	室温
検査専用備品	UPC専用希釈液

□4-3:電解質検査用試薬 Lyte4クリップ ご利用上の注意

■ 保管方法について

- 未開分の状態で冷凍保管してください。
- 未開封の状態で最長8時間まで室温に置くことができます。 注意)最大5回まで冷凍庫に再保管が可能です。

■ 取り扱いについて

- 冷凍庫から取り出した後、室温に戻す必要はありません。
- 開封後は2分以内に機器にセットしてご使用ください。(他の専用試薬クリップや試薬スライドは開封から5分以内です。)
- 他の専用試薬クリップや試薬スライドとの同時測定が可能です。ただし、同時測定の際は、 必ずLyte 4 クリップを最初(サンプルトレーの一番下)にセットしてください。

注意)ただし、NH3(アンモニア)スライドと同時測定する場合のみ、必ずNH3スライドを最初(サンプルトレーの一番下)にセットしてください。

例: Chem 1 5 クリップ、NH3 スライド、Lyte 4 クリップを同時測定する場合 ①NH3、②Lyte 4、③ Chem 1 5 の順にセットしてください。

■ 測定について

- Lyte 4 クリップは希釈測定ができません。
- NaとKを含んだLyte4クリップをChem17、Chem15、Chem10クリップと同時測定した場合は、演算項目としてOsm Calc(浸透圧計算値)が追加されます。この数値は糖尿病、腎疾患、高浸透圧症候群などの指標としてご利用いただけます。

□ 4-4: UPC (尿中タンパク/クレアチニン比) 試薬 ご利用方法

■ ご注意事項について

クリップや他の試薬スライドとの同時測定はできません。

(例:左トレーでUPCとChem 1 7を測定は不可)

- 以下①のようなサンプルトレーを分けての連続セット、連続測定は可能ですが、 以下②と③の場合は連続セット、連続測定はできません。
 - ① 左トレーにてクリップや他のスライド、右トレーにてUPCをセット(逆も可能)
 - ② 左トレーにてクリップや他のスライドを希釈測定、右トレーにてUPCをセット(逆も不可)
 - ③ 左トレーと右トレー共にUPCを測定
- 採尿後はできるかぎり2時間以内に測定してください。冷蔵保管する場合は、24時間以内に 測定してください。冷蔵した場合は、測定前に15~30分間ほど室温で放置し、常温に 戻してください。
- 測定に必要な備品について
 - UPROとUCREスライド(各6枚、計12枚/箱)





冷凍保管

● UPC専用希釈液



室温保管

■ 検体準備方法について

- 1. 尿検体を遠心分離器にかけます。(※)
- 2. カタリスト専用のサンプルカップに尿検体300 µl を分注します。
 - ※ 遠心分離器の速度と時間は、5分/2,000 rpm に設定してください。
 - ※ スタットスピンをお使いの場合は、尿モードに設定してください。(45秒/9,800 rpm)
 - ※ カタリスト機器本体に内蔵された遠心器は全血セパレーター専用のため使用不可です。
 - ※ 5,000から6,000 rpm 程度のスピードの遠心器をご利用の場合は、3分程度遠心を行い、結晶などが分離していることをご確認ください。

■ 検査手順について

- 1. カタリストDxの「サンプル登録情報」画面にて「サンプルタイプ」で「尿」を選択、「特殊スライド」で「UPC」を選択し、「次へ」を押します。
- 2.画面の指示に従い、チップ/希釈液トレーを開き、ピペットチップ、空のサンプルカップ、 UPC専用希釈液300µl入りのサンプルカップをセットし、「次へ」を押します。
- 3.「サンプルとスライド挿入」画面に従い、サンプルトレーに、 **尿を300µl入れたサンプル** カップとUPROスライド と UCREスライド をセットします。

「測定」ボタンを押すと検査がスタートします。

※UPROスライド、UCREスライドをセットする順番はどちらからでもかまいません。

4. 検体濃度により若干異なりますが、約10分で検査が終了します。

■ 検査結果について

UPC検査の基準値 犬: < 0.5

猫: < 0.4

UPC = UPROの値 ÷ UCREの値

• UPROの測定範囲:5 \sim 400 mg/dL

UCREの測定範囲:6~350 mg/dL

□ 4-5:総サイロキシン(トータルT4) 試薬 ご利用方法

- 保管方法について
 - 未開封の状態で冷蔵保管してください。凍結しないでください。
 - 未開封の状態で最長8時間まで室温に置くことができます。

注意) 最大5回まで冷蔵庫に再保管が可能です。

■ 検体準備方法について

※以下「トータルT4」と省略

- 1. 全血をご利用の場合は、全血セパレーターに全血を600~800µl 入れてください。
- 2. 血清、または血漿をご利用の場合は、サンプルカップに入れてください。

検体量:トータルT4単独測定時は65µl、他のスライドと同時セットする場合は、

第4章:補足資料「4-1:必要サンプル量一覧表、クリップの詳細」を参照ください。

- ご注意事項について
 - クリップや他の試薬スライドとの同時測定が可能です。
 - ※ UPC/CRP/SDMAとは同時測定できません。
 - 以下①のようなサンプルトレーを分けての連続セット、連続測定は可能ですが、 以下②と③の場合は連続セット、連続測定はできません。
 - ① 左トレーにてクリップや他のスライド、右トレーにてトータルT4をセット(逆も可能)
 - ② 左トレーにてクリップや他のスライドを希釈測定、右トレーにトータルT4をセット(逆も不可)
 - ③ 左トレーと右トレー共に試薬カップを使う検査
 - 希釈測定はできません。
 - 一つの包装紙にトータルT4の試薬スライドと 試薬カップがセット
 で入っています。同じ包装紙に入っているものをセットでご使用ください。
 - 他のスライドと同時に測定する場合は、トータルT4試薬スライドを一番最後(一番上)にセットしてください。
- 検査手順について
 - 1. カタリストDxの「サンプル登録情報」画面にて、「サンプルタイプ」は「全血、血漿、 または血清」を選択し【次へ】を押します。
 - 2. 必要な材料をセットします。
 - ① チップ/希釈液トレーを開け、試薬カップ ピペットチップをセットします。
 - ②「サンプルとスライド挿入」画面の指示に従い、 サンプルトレーに、**試薬スライド**と**検体**を セットします。
 - ※<u>ピペットチップは全てセット</u>してください。



- 3. 【測定】ボタンを押して検査をスタートします。 トータル T4試薬スライド トータルT4 試薬カップ 検体濃度により若干異なりますが、約15分で検査が終了します。
- 検査結果について

トータルT4 検査の基準値

• 犬 1.0~4.0 µg/dL

•猫 0.8 ~4.7 µg/dL

トータルT4 検査値の解釈

犬: <1.O μg/dL 低値

1.0~2.0 μg/dL 正常範囲内低値

1.0~4.0 µg/dL 正常值

>4.0 µg/dL 高值

2.1~5.4 µg/dL 治療域

トータルT4の測定範囲

•犬 0.5 ~10.0 µg/dL

•猫 0.5 ~20.0 µg/dL

猫: <0.8 µg/dL 低值

O.8-4.7 µg/dL 正常值

2.3-4.7 µg/dL グレーゾーン

>4.7 µg/dL 高值

□ 4-6: C反応性蛋白(CRP) 試薬 ご利用方法

- 保管方法について
 - 未開封の状態で冷蔵庫に保管ください。凍結しないでください。
 - 未開封の状態で最長8時間まで室温に置くことができます。 注意)最大5回まで冷蔵庫に再保管が可能です。
- 検体準備方法について <u>※以下「CRP」と省略</u>
 - 1. 全血をご利用の場合は、全血セパレーターに全血を600~800µl 入れてください。
 - 2. 血清、または血漿をご利用の場合は、サンプルカップに入れてください。

検体量: CRP単独測定時は100μl、他のスライドと同時セットする場合は、

第4章:補足資料「4-1:必要サンプル量一覧表、クリップの詳細」を参照ください。

- ご注意事項について
 - クリップや他の試薬スライドとの同時測定が可能です。※ UPC/トータルT4/SDMAとは同時測定できません。
 - 以下①のようなサンプルトレーを分けての連続セット、連続測定は可能ですが、以下②と③の場合は連続セット、連続測定はできません。
 - ① 左トレーにてクリップや他のスライド、右トレーにてCRPをセット(逆も可能)
 - ② 左トレーにてクリップや他のスライドを希釈測定、右トレーにてCRPをセット(逆も不可)
 - ③ 左トレーと右トレー共に試薬カップを使う検査
 - **手動希釈測定**が可能です。<u>(自動希釈測定はできません。)</u>
 - 一つの包装紙にCRPの試薬スライドと試薬カップがセットで入っています。 同じ包装紙に入っているものをセットでご使用ください。



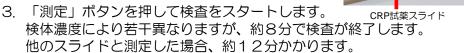
 他のスライドと同時にセットする場合、CRP試薬スライドは18枚以内にセット、 NH3を含む場合は16枚以内にセットしてください。

■ 検査手順について

- 1. カタリストDxの「サンプル登録情報」画面にて、「サンプルタイプ」は「全血、血漿、または 血清」を選択し、「次へ」押します。
- 2. 必要な材料をセットします。
 - ① チップ/希釈液トレーを開け、試薬カップ、 ピペットチップ をセットします。

※<u>ピペットチップは全てセッ</u>トしてください。

②「サンプルとスライド挿入」画面の指示に従い、 サンプルトレーに、**試薬スライド**と**検体**を セットします。





CRP 試薬カップ

- ※ 手動希釈測定を行う場合、試薬スライドと試薬カップをセットし「第1章 1-6:希釈測定」 も参照ください。
- 検査結果について

CRP検査の基準値

• 犬 0.0~1.0 mg/dL

CRP検査の測定範囲

•犬 0.1~10.0 mg/dL

□ 4-7:SDMAセットご利用方法

■ 保管方法について

- 未開封の状態でクリップとCREAは冷凍してください。
- 未開封の状態でSDMAとBUN冷蔵は冷凍保管してください。SDMAは凍結しないでください。
- 未開封の状態で最長8時間まで室温に置くことができます。 注意)最大5回まで冷蔵庫に再保管が可能です。

■ 検体準備方法について

- 1. 全血をご利用の場合は、全血セパレーターに全血を600~800µl 入れてください。
- 2. 血清、または血漿をご利用の場合は、サンプルカップに入れてください。

検体量:*第4章:補足資料「4-1:必要サンプル量-覧表、クリップの詳細」*を参照くださ

■ ご注意事項について

- UPC/トータルT4/CRPとは同時測定できません。
- 希釈測定はできません。
- 冷凍した検体の使用は推奨しておりません。冷凍していない検体で測定してください。
- SDMAは、一つの包装紙に 試薬スライド と 試薬カップがセットで入っています。 同じ包装紙に入っているものをセットでご使用ください。
- SDMAは18枚以内にセット、NH3を含む場合は16枚以内にセットしてください。
- 以下①のようなサンプルトレーを分けての連続セット、連続測定は可能ですが、 以下②と③の場合は連続セット、連続測定はできません。
 - ① 左トレーにてクリップや他のスライド、右トレーにてSDMAをセット(逆もも記し
 - ② 左トレーにてクリップや他のスライドを希釈測定、右トレーにてSDMAをセット(逆も不可)
 - ③ 左トレーと右トレー共に試薬カップを使う検査

■ 検査手順について

1. カタリストDxの「サンプル登録情報」画面にて、「サンプルタイプ」は「全血、血漿、または 血清」を選択し、「次へ」押します。

- 2. 必要な材料をセットします。
 - ① チップ/希釈液トレーを開け、試薬カップ、 ピペットチップをセットします。

※ピペットチップは全てセットしてください。

- ②「サンプルとスライド挿入」画面の指示に従い、 サンプルトレーに、**試薬スライド**と**検体**を セットします。
- 3. 「測定」ボタンを押して検査をスタートします。 クリップスライド 検体濃度により若干異なりますが、約13分で検査が終了します。



SDMA 試薬カップ

SDMAを単独で測定する場合

検体量:65μ1測定時間:約10分

SDMA検査の基準値

・犬(成犬・シニア) O~1 4 μg/dL (子犬) O~1 6 μg/dL

猫 (子猫・成猫・シニア) 〇~14 µg/dL

SDMA検査の測定範囲

• $0 \sim 100 \mu g/dL$

カタリスト 参考基準値一覧表

		犬								ži	 #		
項目	単位	子	犬		成犬 シニア		子	猫	成	猫	シニ	ア	
ALB	g/dL	2.1	~3.6	2.	2.3~4.0		~3.9	2.2~3.9		2.2~4.0		2.3^	~3.9
ALKP	U/L	46^	~337	2:	3~212	23^	~212	14~192		14~111		14~	⁄111
ALT	U/L	8^	~75	10	O∼125	10^	~125	12~	¹¹⁵	12^	~130	12~	[/] 130
AMYL	U/L	300~	1300	500	O∼1500	500^	~1500	500~	1400	500~	~1500	500~	1500
AST	U/L	0^	~50	(0∼50	0	~50	0~	⁄32	0^	~48	0~	² 48
BUN	mg/dL	7^	~29		7~27	7~	~27	16^	~33	16	~36	16^	~36
Ca	mg/dL	7.8^	~12.6	7.9	9~12.0	7.9^	~12.0	7.9~	[/] 11.3	7.8^	~11.3	7.8~	[/] 11.3
CHOL	mg/dL	100	~400	11	0~320	110⁄	~320	62~	[⁄] 191	65^	-225	65~	²²⁵
CK	U/L	99^	~436	10	0∼200	10^	~200	0~	394	0~	314	0~;	314
CREA	mg/dL	0.3	~1.2	0.	5 ∼ 1.8	0.5	~1.8	0.6	~1.6	0.8	~2.4	0.8^	~2.4
GGT	IU	0	~2	(ე~11	0~	~11	0^	~1	0~	~4	0~	~ 4
GLU	mg/dL	77~150		74	4 ∼ 143	70^	~143	77~153		74~159		71~159	
LDH	U/L	0~	²⁷³	4(0∼400	40^	~400	0~1	128	0~	798	0~	798
LIPA	U/L	100^	~1500	200	0∼1800	200~1800 40~500		² 500	100~1400		100~	1400	
Mg	mg/dL	1.20~2.04		1.4	0~2.38	1.40~2.38		1.62~2.23		1.50~3.00		1.50^	~3.00
NH3	μmoL/L	0^	~99	(ე∼98	0~98		0~95		0~95		0~95	
PHOS	mg/dL	5.1^	~10.4	2.	5~6.8	2.5~6.8		4.5~10.4		3.1~7.5		3.1^	~7.5
TBIL	mg/dL	0.0	~0.8	0.	0~0.9	0.0~0.9		0.0~0.9		0.0~0.9		0.0	~0.9
TP	g/dL	4.8	~7.2	5.	2~8.2	5.2	~8.2	5.2~8.2		5.7~8.9		5.7^	∽ 8.9
TRIG	mg/dL	0^	~33	10	o∼100	10^	~100	8~54		10~100		10~	¹⁰⁰
URIC	mg/dL	0.0	~1.0	0.	0~1.0	0.0	~1.0	0.0	~1.0	0.0	~1.0	0.0	~1.0
GLOB	g/dL	2.3	~3.8	2.	5~4.5	2.5	~4.5	2.8^	~4.8	2.8	~5.1	2.8^	∽ 5.1
Na	mmo] /L		~157		4~160		~160	150^			~165	150^	
K	mmo] /L	3.5	~5.5	3.	5~5.8	3.5	~5.8	3.7^	√5.9	3.5	~5.8	3.5^	~5.8
CI	mmo] /L	105	~119	10	9~122	109~122		115~126		11.2~129		11.2	~129
SDMA	μg/dL	0~	-16		0~	14		0~14					
UPC	μg/mL				<0.5			<0.4					
	1.0 ~ 4.0		عــد ــــــــ ريد	0.8 ~ 4.7			ا ا						
TT4	μg/dL		正常範囲内		正常値	高値 治療域		低値	正常		グレー		高値
EDII	umel /I	<1.0				2.1-5.4					>4.7		
FRU CRP	μmoL/L mg/dL	177 ~ 314 191 ~ 349 0.0-1.0											
CIVE	ilig/uL	0.0-1.0											

カタリスト 測定範囲一覧表

項目	U.S Units	S.I Units	French Units
ALB	0.1-6.0 g/dL	1-60 g/L	1-60 g/L
ALKP	10-2000 U/L	10-2000 U/L	10-2000 U/L
ALT	10-1000 U/L	10-1000 U/L	10-1000 U/L
AMYL	5-2500 U/L	5-2500 U/L	5-2500 U/L
AST	0-1083 U/L	0-1083 U/L	0-1083 U/L
BUN	2-130 mg/dL	0.6-46.4 mmol/L	0.034-2.730 g/L
Ca	1.0-16.0 mg/dL	0.25-4.00 mmol/L	10-160 mg/L
CHOL	6-520 mg/dL	0.16-13.44 mmol/L	0.06-5.20 g/L
CK	10-2036 U/L	10-2036 U/L	10-2036 U/L
CI	50-160 mmol/L	50-160 mmol/L	50-160 mmol/L
CREA	0.1-13.6 mg/dL	9-1202 µmol/L	1.0-136.0 mg/L
CRP	0.1-10.0 mg/dL	1.0-100.0 mg/L	1.0-100.0 mg/L
FRU	100-1000 μmol/L	100-1000 µmol/L	100-1000 µmol/L
GGT	0-952 U/L	0-952 U/L	0-952 U/L
GLU	10-686 mg/dL	0.56-38.11 mmol/L	0.10-6.86 g/L
K	0.8-10 mmol/L	0.8-10 mmol/L	0.8-10 mmol/L
LDH	50-2800 U/L	50-2800 U/L	50-2800 U/L
LIPA	10-6000 U/L	10-6000 U/L	10-6000 U/L
Mg	0.5-5.2 mg/dL	0.21-2.17 mmol/L	5.0-52.0 mg/L
Na	85-180 mmol/L	85-180 mmol/L	85-180 mmol/L
NH3	0-950 µmol/L	0-950 µmol/L	0-950 µmol/L
PHOS	0.2-16.1 mg/dL	0.06-5.19 mmol/L	2.00-161.00 mg/L
SDMA	0-100 μg/dL	0-100 μg/dL	0-100 μg/dL
TBIL	0.1-27.9 mg/dL	2-477 µmol/L	1.0-279.0 mg/L
TP	0.5-12.0 g/dL	5-120 g/L	5-120 g/L
TRIG	10-375 mg/dL	0.11-4.23 mmol/L	0.10-3.75 g/L
TT4(犬)	0.5-10.0 μg/dL	6.43-128.7 nmol/L	6.43-128.7 nmol/L
TT4(猫)	0.5-20.0 μg/dL	6.4-257.4 nmol/L	6.4-257.4 nmol/L
UCRE	6-350m g/dL	0.06-3.50 g/L	0.06-3.50 g/L
UPRO	5-400 mg/dL	0.05-4.00 g/dL	0.05-4.00 g/dL
URIC	0.1-20 mgdL	6-1190 µmol/L	0.1-20 mgdL

アイデックスお客様専用サイト

弊社製品とサービスをご利用頂いているお客様には、「アイデックスお客様専用サイト」を 開設しております。学術や製品情報を24時間365日、パソコン、スマートフォンやタブレット からご覧いただけるよう公開しております。

アイデックス お客様専用サイト: www.idexxjp.com 【登録方法】

トップページ右上の「Login」内の「新規登録」のリンクを開き、登録を行ってください。 登録完了後、ユーザーIDとパスワードが発行されます。



※ 新規開業された場合、電話番号を変更された場合は、ユーザーID及びパスワードが発行できない場合がございます。 お手数ですが弊社 お客様専用サイト担当者 (marketing-jp@idexx.com) 宛にメールにてご連絡ください。

本装置のご使用上の注意

- ◆ 本装置を分解、改造しないこと。
- ◆ 本装置の取扱いには十分注意すること。本体を落としたり、強く振動させると内部のメカニズム、電気回路、メモリーや光学系に障害を起こすおそれがあるので、 衝撃を与えないように注意すること。
- ◆ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
- ◆ 湿度の高い場所、直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所などには設置しないこと。
- ◆ 電気的ノイズを発生するものや、強い磁界を発生する装置の近くには設置しないこと。
- ◆ 必ず熱源や火気から離れた場所に設置すること。
- ◆ 流しや洗面台などの水周りの場所を避けて設置すること。
- ◆ 設置の際は、本装置の換気口を塞がないように注意すること。
- ◆ 電源の周波数(50~60 Hz)と電圧(100~240 V AC)を十分に確認し、付属の電源コードを使用すること。また、コードの接続が正確かつ安全であることを確認すること。
- ◆ 取扱説明書に従い、正しい操作をすること。
- ◆ サンプルの取扱いには十分注意すること。
- ◆ 測定に使用したサンプル・試薬・チップなどは、地方公共団体の定める条例等に従い処分すること。
- ◆ 下記のような液体、研磨剤やエアゾールスプレーを本体に、もしくは本体の側で使用しないこと。
 - 有機溶剤
 - アンモニア含有のクリーナー
 - 油性ペン
 - 揮発性物質含有スプレー
 - 殺虫剤
 - 消毒液
 - 研磨剤
 - 室内空気洗浄剤
- ◆ 以下のような場合は電源ケーブルを取り外すこと。
 - ケーブルが磨耗しているか、或いは破損している場合
 - 本体に液体などをこぼした場合
 - 湿度が極端に高くなった場合
 - 本体を落としたり、ケースを破損したりした場合
 - メンテナンスや修理が必要と思われる場合
 - 機器本体をクリーニングする場合
- ※ 血液化学検査器 IDEXX カタリストDx(以下カタリストDx)の重量は、22kgです。機器の持ち運びには、数人を要する場合があります。
- ※ 指定の設置条件・使用方法以外で使用した場合、装置の保護機能が無効になることがあります。

カタリストスライド(カタリストスライドGGT、TBIL、 PHBR、UPRO、UCRE、FRUを除く)における使用上の注意

[一般的注意]

- 1)定められた使用方法を厳守すること。
- 2)本スライドは、使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

[取扱い上の注意]

- 1)カタリストスライドの測定には、専用の分析装置を用いること。
- 2)アルミ箔の袋の開封後は5分以内(Lyte4クリップは2分以内)に使用すること。
- 3)アルミ箔の袋に入った状態であれば、最長8時間までは室温に放置することができる(最大5回まで冷蔵庫/冷凍庫に再保管が可能)。
- 4)検査を行う血液を採取後、すぐに遠心分離を行う。血漿検体には、抗凝固剤としてリチウムへパリンを用いること。
- 5) 測定に使用した検体・試薬などは、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- 1)小児の手の届かないところに保管すること。
- 2)スライドの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。

カタリストスライドGGTにおける使用上の注意

[一般的注意]

- 1)定められた使用方法を厳守すること。
- 2)本スライドは、使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

[取扱い上の注意]

- 1)カタリストスライドの測定には、専用の分析装置を用いること。
- 2)アルミ箔の袋の開封後は5分以内に使用すること。
- 3)アルミ箔の袋に入った状態であれば、最長8時間までは室温に放置することができる (最大5回まで冷蔵庫に再保管が可能)。
- 4)検査を行う血液を採取後、すぐに遠心分離を行う。血漿検体には、抗凝固剤としてリチウムへパリンを用いること。
- 5) 測定に使用した検体・試薬などは、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 6)犬の正常検体に含まれるガンマ-グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)活性が極めて低く正常範囲内の検体を測定する場合、その値は精度が低いものになりやすい。しかし、GGT活性が上昇する異常レベルにおいては、精度よく測定することができる。

- 1)小児の手の届かないところに保管すること。
- 2)スライドの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。

カタリストスライドTBILにおける使用上の注意

[一般的注意]

- 1)定められた使用方法を厳守すること。
- 2)本スライドは、使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

[取扱い上の注意]

- 1)カタリストスライドの測定には、専用の分析装置を用いること。
- 2)アルミ箔の袋の開封後は5分以内に使用すること。
- 3)アルミ箔の袋に入った状態であれば、最長8時間までは室温に放置することができる (最大5回まで冷凍庫に再保管が可能)。
- 4)検査を行う血液を採取後、すぐに遠心分離を行う。血漿検体には、抗凝固剤としてリチウムへパリンを用いること。
- 5) 測定に使用した検体・試薬などは、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 6)犬、猫の正常検体に含まれる総ビリルビン量が極めて微量であり、正常範囲内の検体を測定する場合、 その値は精度が低いものになりやすい。しかし、総ビリルビン量が上昇する異常レベルにおいては、 精度よく測定することができる。

- 1)小児の手の届かないところに保管すること。
- 2)スライドの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。

カタリストスライドUPRO及びUCRE(UPC測定) における使用上の注意

[一般的注意]

- 1)定められた使用方法を厳守すること。
- 2)本スライドは、使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

[取扱い上の注意]

- 1)カタリストスライドの測定には、専用の分析装置を用いること。
- 2)アルミ箔の袋の開封後は5分以内に使用すること。
- 3)アルミ箔の袋に入った状態であれば、最長8時間までは室温に放置することができる(最大5回まで冷凍庫に再保管が可能)。
- 4)血色素尿は、UPCの測定値に影響を及ぼすことがあるため、使用しないこと。
- 5) 測定に使用した検体・試薬などは、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- 1)小児の手の届かないところに保管すること。
- 2)スライドの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。

カタリストスライドFRUにおける使用上の注意

[一般的注意]

- 1)定められた使用方法を厳守すること。
- 2)本スライドは、使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

[取扱い上の注意]

- 1)カタリストスライドの測定には、専用の分析装置を用いること。
- 2)アルミ箔の袋の開封後は5分以内に使用すること。
- 3)アルミ箔の袋に入った状態であれば、最長8時間までは室温に放置することができる(最大5回まで冷凍庫に再保管が可能)。
- 4)検査を行う血液を採取後、すぐに遠心分離を行う。 血漿検体には、抗凝固剤としてリチウムへパリンを用いること。
- 5)著しい溶血検体または著しい黄疸が見られる検体/ビリルビン血検体は、FRUの測定値に影響を及ぼす。
- 6) 測定に使用した検体・試薬などは、地方公共団体条例に従い処分すること。

- 1)小児の手の届かないところに保管すること。
- 2)スライドの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。